



山梨 浩利先生のこころとからだを癒すアート

「祈り」

本誌を横にご覧いただくと、3D(立体的)にみえてきます。この時、脳波は自然界(地球)と同調しています。眺めることで心身の健幸に、飾って場の浄化などにもお役立てください。

山梨浩利先生の HADO講座

第23回 天地自然の摂理に 適うということ その3

HADO(波動)の概念

HADO(波動)数値とは、
生体・細胞が感じる度合いの
こと。

プラスの数値は生体・細胞
が共鳴・同調していることであ
り、この数値が高いほど、生体・
細胞が「喜び・感謝している」
状態を示しています。

逆に、マイナスの数値は生
体・細胞が非共鳴・拒絶してい
ることであり、この数値が低い
ほど、生体・細胞が「嫌がる・拒
否している」ことを示してい
ることを示します。

すなわちHADO(波動)数
値とは、自然の一部である人間
と、自然界の摂理との調和度
合いの目安となるものです。

優れたHADO(波動)数値の ものには、生体に「大自然の摂理、

秩序を学ばせる働き」がある

高HADO(波動)とは、生体や細
胞に有益で、共鳴している状態、すな
わち大自然の摂理に適合している
ことです。優れた数値のものには、
生体に「大自然の摂理、秩序を学ば
せる働き」もあると考えています。

いっぽう、ネガティブHADO
(波動)とは、生体や細胞が拒絶して
いる状態です。例えば、電磁波や化学
合成物質などで生態系の循環を阻害
させるもの、すなわち大自然の摂理
から離れているものです。

化学的に合成された食品添加物
などに見られるHADO(波動)数値
の特徴は、特にホルモンバランスや
自律神経にとつて非常に低い数値に
なることです。ホルモンバランスや
自律神経は、生体内の司令塔。いわゆ
る、生体を活動させる「秩序」なので、
自然の摂理から離れているものは、
摂理、秩序を乱すということなので
しう。

HADO(波動)数値は、

生体を感じる「快・不快」を

表現したもの

HADO(波動)数値は、生体が
感じる「快・不快」を数値として表現
したもの、とも考えられます。

美しい風景や絵画、楽しい音楽
などを五感が捉えて、脳が処理し、心
地よくなる状態が「快」で、HADO
(波動)としては高数値で表れます。

逆に、嫌な臭いや、痛みなどの
「不快」な状態では、HADO(波動)
は低い数値となります。

HADO(波動)数値とは、これ
まで化学的に示すことができな
かった、生体を感じた心地よさや
不快感というようなものを数値化
して、表現したものだと考えていた
だけたらよいかと思います。

このように、生体を感じる「快・
不快」と、大自然の摂理に適っている
か、離れているかの状態が、HADO
(波動)数値で表されるということ
からも、あらためて、私たちが自然界
の一部であることがわかります。

「心地よい」と感じるものを取り入れ
ることは、自身を大自然の摂理に
適っている状態へと導いてくれる
ことでもあるのです。



エヌピエア 研究開発顧問
山梨 浩利

1962年静岡県焼津市に生まれる。1985
年中央大学理工学部工業化学科卒業。大手食
品会社で主に食品の研究開発に従事。数々の
商品を世に送り出す。サトルエネルギー学会、
機器検討委員会などにも参画。その活躍は、
広く海外にまで広がっている。

現在、山梨事務所を設立し、微生物・発酵・鉱物を
テーマにした本物商品の研究や企画開発など
を行っている。(株)エヌピエア研究開発顧問。
著書に『見るだけ聴くだけ 超快眠！CDブック
』『同超開運！CDブック』がある。